

北但馬一泊研修旅行実施報告

今年は秋深まる但馬北部を中心に有意義な研修旅行を実施できたので、概略を報告する。

出発日時：平成 25 年 11 月 21 日(木)7:50 集合、8:00 出発

幹事は 7:15 集合

集合場所：湊川神社前（日本交通バスに乗車）

参加人員：保田学長以下男性 23 名、女性 16 名 計 39 名



11月21日(木)の訪問先

① 9:55●北部農業技術センター（和田山町） 11:05



6 月の研修で訪問した農林水産技術総合センターの出先機関であり、担当者による当センターの役割など説明を受けた。当センターは竹田城がよく見える西北にあり、広大な一角の中に、但馬牛畜産研究の牛舎や、農業研究畑を遠望した。BSE 問題から、近年は見学可能場所が少なくなっているとのことであった。

② 12:00 道の駅「むらおかファームガーデン」 13:00

田丸支配人による講話と昼食



*田丸支配人講演の要旨

「道の駅は地方の活気を甦らせる第3セクターの施設として全国で 1,000 か所開設されたが何れも良い結果を生んでいない。

当村岡ファームガーデンも経営的に苦難の時代を乗り越え、大納言小豆加工品のホテルへの大量納入、4 頭/月の低コスト仕入れによる販売の成功によりやっと道の駅所期の目的を達成出来るようになってきた。」

苦労が実りつつある経営者の自信に満ちた講演に大学院生一同大変感銘を受けた。

③ 13:20 北但西部森林組合 14:00

伍々組合長講話と、チップ工場及びワサビ園見学



*北但西部森林組合長 伍々様講演の要旨 (資料<20p>全員に配布)

(1) 林業にかんして

森林率85%を占める管内(美方郡)の林業は次の3点で窮地に追い込まれている。

- ① 全国の木造住宅着工数はH7年に比べH24年は73%に下落した。
- ② 輸入材の増加もあり最近の10年でヒノキ材は60%に下落、スギ材も80%に下落した。
- ③ 森林所有が小規模のため搬出コストが高くまた、産地規模が小さいため加工流通ルートがない

打開策：森林の集約化、広域連携による直接販売を推し進めると同時に最近の木材利用として「バイオマス発電」の推進等を掲げている。

(2) チップ工場

地域林業の活性化のため1988年にチップ工場を開設した。製品は主に王子製紙鳥取工場に納品しているが紙の需要減、および工場の大型機械の老朽化もあり先行き希望が持てない状況とのこと。

(3) ワサビ園(伍々様の私有園)

湧水の豊富な斜面の2角にあり先祖代々ワサビを生産してきた。近年は伍々様が神戸勤務のため生産は中断していたが、これからは勤務地も近くなったので再開したいとのこと。初めて見るワサビ園に一同感服。

④ 16:35 湯村温泉「井づつや」泊

- ・ 事前に決めた部屋割りに基づき、そのまま入室。鍵は室内にあり。
- ・ ホテルから徒歩5分の湯村温泉源泉「荒湯」、夢千代像など散策。温泉街への散策は、地下2階 荒湯門からが便利だった。
- ・ 7階の豪華な展望檜風呂では18時まで冷酒か発泡酒のサービスに感激し

て、地下2階の大浴場、露天風呂も利用した。

- 18:00～20:45 夕食宴会は、同期生、学習Gなどの余興が続き、時間が不足した位で、有志20名くらいは幹事部屋で2次会へと続いた。料理、サービス共大満足の様子だった。



11月22日(金)の訪問先

7:30 朝食、9:00 ホテル中庭の日本庭園で記念写真撮影。



⑤ 9:20●おもしろ昆虫化石館見学（団体入場料 80 円/人） 9:45



国内有数の昆虫化石産地である海上地区で見つかった昆虫化石や、世界でも珍しい化石を展示している日本で初の昆虫化石館。ここで但馬県民局新温泉農業改良センター八田課長と合流して、牧場公園まで先導していただく。

⑥ 10:00 新温泉町海上 むらづくりと生活研究グループ訪問 11:45

元気村では、ふきの佃煮、新鮮野菜等を購入した後、植田組合長からパワーポイントを用いた判り易い御説明と、村の名前通り尾崎区長の前向きで力強いお話を伺った。会場の入口付近に正座



されていた女性たちの顔も生き生きとしており、都市生活者と比べて年齢に関係なく仕事がある皆様方を羨ましく思った。

⑦ 12:30●但馬牧場公園（但馬牛飼育場） 八田課長講話「放牧を活用した遊休農地対策」

耕作放棄田の雑草対策として、牧柵を設置したうえで但馬牛を放牧して、農地保全を進めている。レストランでの昼食後は、園内見学と正面のビ



ジターハウスで但馬牛の説明を受け、隣の但馬牛博物館を鑑賞。集合写真を撮って出発 14:10



⑧ 15:35 道の駅「ようか」但馬蔵（お買物） 15:55

18:15 湊川神社南着（舞鶴若狭道経由、西紀 SA トイレ休憩。箕谷駅付近、三宮付近で途中降車）

注：●印は、県民バス助成金受領を兼ねた訪問です。

総務担当： 庄司 博
高橋 昇二